

第2回 宮川水系(県管理区間)流域懇談会 を開催しました！

三重県では、宮川水系（県管理区間）の河川整備計画を策定中です。
 河川整備計画の作成段階において、地域で暮らす方々や地域で活動する方々からご意見をうかがうため、流域懇談会を開催しました。

*** 中・下流部流域懇談会のようす ***



*** 上流部流域懇談会のようす ***



◆ 開催日・場所

懇談会名		中・下流部流域懇談会	上流部流域懇談会
開催日		平成21年11月27日(金)	平成21年11月30日(月)
会場		三重県伊勢庁舎	大紀町滝原公民館
参加者	地域住民	10名	8名
	市町関係職員	4名	1名
	県関係職員	2名	2名
	河川管理者(県)	7名	7名

◆ 開催内容

1. 宮川水系（県管理区間）の課題について
2. 宮川水系（県管理区間）河川整備計画の考え方について
3. 参加者からの意見聴取

◆ 参加者の主な意見

*** 中・下流部流域懇談会 ***

(河川環境について)

- 河川整備にあたっては、低木の植樹や部分的な緑化などを行い、景観に配慮して実施してほしい。
- 自然を再生し生物や植物を保全していく必要もあるが、水流がきつい場所はコンクリート護岸による整備もやむを得ない。
- 河川に生活排水を流し込まないようにPR活動も行ってほしい。

(河川利用について)

- 住民は川と深く関わり川を大切にしている。川の景色を残し、川が市民の憩いの場となってほしい。

(河川維持について)

- 老朽化した護岸の対策を計画してほしい。

*** 上流部流域懇談会 ***

(治水について)

- 宮川上流の堆積土砂の撤去をしてほしい。

(河川環境について)

- 宮川ダムからは、きれいな水を放流してほしい。また、放流量増減などの放流管理には地元の意見を取り入れてほしい。
- 護岸工事はなるべく自然に近いものでやってほしい。
- 河川内に流れ込んだゴミの処理をお願いしたい。

(河川利用について)

- 浮き石など危険な場所の対策を行い、川遊びや釣りにとって河川を安全な場所にしてほしい。
- キャンプができる場所や川に降りることができる場所をつくり、子どもたちが遊べる川にしてほしい。
- 河川改修が必要かどうかを再検討すべき。川の魅力を喪失しないために整備は極力抑えてほしい。

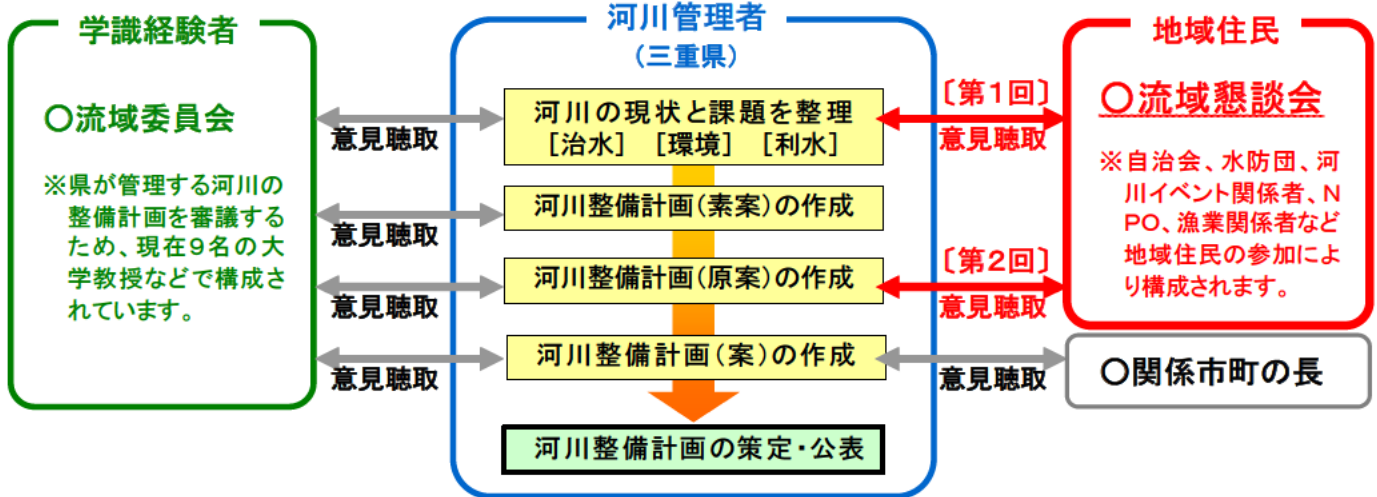
(河川維持について)

- 現存する堰堤やコンクリート構造物について、維持補修の他、効果の無い施設の撤去も含めて検討すべき。

*** 流域懇談会 とは？ ***

- 「河川整備計画」の作成段階で、地域で暮らす方々や地域で活動する方々からご意見をいただく場です。

[河川整備計画策定の流れ]



※「第1回流域懇談会」は、平成21年9月28日(月)、29日(火)に開催しました。

◆ 問合せ先 ◆

〒516-8566 伊勢市勢田町 622
三重県伊勢建設事務所 事業推進室 流域課
電話：0596-27-5227
FAX：0596-27-5256
Eメール：nkenset@pref.mie.jp